

令和4年11月1日発行

米水津地域 コミュニティだより №3

第1回 運営委員会

令和4年10月6日

新たな地域コミュニティ組織を考える会の今後の取組について三役・運営委員会を開催しました。

「コミュニティサポートおおいた」の山浦先生をお招きして、アドバイスをいただきました。



- ・危機感はあるが切羽詰まっていない
- ・若者が意見を出す場がほしい。
- ・もっと雑談が必要！

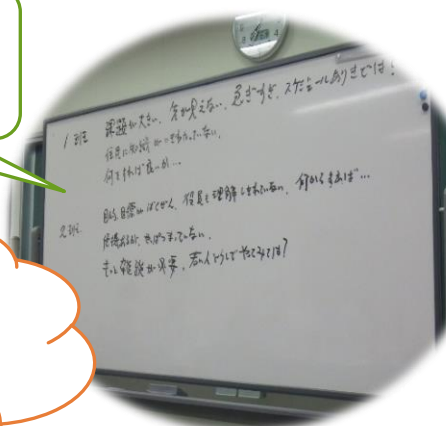


「新しいコミュニティ組織」設立に向けた「考える会」の在り方について、真剣な話し合いが行われました！



「考える会の進め方について」いろいろな意見が出ました。

- ・取組課題が大きすぎる。
- ・スケジュールありきでは。
- ・住民に情報が届いていない。



「米水津地域 新たな地域コミュニティ組織を考える会」運営委員会のメンバー（敬称略）

会長：水口貞光、副会長：高橋ユリ子、渡邊正太郎

運営委員：今田今義、永井由正、江川明義、戸高竜介、神崎一臣、榎 英樹、廣津留新太郎

第3回「考える会」を開催しました！

令和4年10月13日 米水津地区公民館

【議事】

① 新たな地域コミュニティ組織について

コミュニティサポートおおいたの山浦先生より説明を受けました。

- ・新しい組織とは、今ある組織を乗せる土台となるようなものである。
- ・それは「みんなで・いろいろなことを・話し合いを踏まえて」つくっていくものです。

② 他地域の取組の紹介

- ・竹田市の明治地区の取組の様子を映像で紹介してもらいました。⇒



【ワークショップ】

班ごとに4つのテーマから1つを選び、意見を出し合いました。

テーマ1：会全体の進め方について



若い人が考える会の頭に

テーマ2：若者中心の話し合いの場について

年齢別に細かく分けて(18~29, 30~39等)
若者だけの会を持つとよいのでは...



テーマ3：女性中心の話し合いの場について

がんばっている人たちの仲間を
増やす(考える会の奥様会等)



事例4：地域の住民にこの取組を知ってもらうには...

危機感は抱いていると思うが…
我が事と考えたがらない
今は何もなくても生活できる

